

## お詫びとご報告

当センターにおいて公的研究費の預け金及び私的流用が判明したこと（平成25年2月26日公表）を受け、競争的資金等調査委員会において、研究者及び取引業者等に対して公的研究費の不適正使用に関する調査を行ってきたところですが、当センターの職員が交付を受けていた研究費の一部を、取引業者に対して預け金等を行っていたことが新たに判明したため、関係職員の懲戒処分を行いましたので報告いたします。

問題が判明した研究費を含め、業者に預けられていた研究費については、資金の交付元である厚生労働省はじめ関係各所と調整し、返還の手続きを行う予定です。

このような不正が行われていたことは、最先端のがん研究を担う当センターの社会的信用を著しく損なうもので極めて遺憾であり、深くお詫び申し上げるとともに当センターとして重く真摯に受けとめています。

当センターでは、これまで研究費不正使用防止計画を策定し、適正な運用に取り組んでまいりましたが、今後さらに研究費に対する内部監査の回数を増やして厳格な確認を行います。また、研究者等に対して各部門長から公的研究費の適正執行についてあらためて周知徹底を図るとともに、会議や研修の際に定期的に周知することとします。さらに研究費による物品等の購入についてさらなる適正化・効率化を図るためのシステム導入を検討しており、再発防止に努めてまいります。

平成25年 9月13日

独立行政法人国立がん研究センター  
理事長 堀田 知光